

中加積地区の主な提言等と回答

「市長と語る会」

と き:平成22年11月24日(水) 19:00~21:00

ところ:中加積公民館(33人参加)

	提言等の項目	主 な 提 言 等	回 答 要 旨
1	道路改良(柴・常光寺線)	未・市元寺線(主長村ZKM。未地内から高柳、小林、市元寺を抜けて有金東台に通じる道路)について、一度現場を確認してほしい。 この場所は過去より陳情に出向いているが、踏み切りの道路幅が狭くなっている箇所も含めて永年放置されてきた。市道に格上げとなったが未舗装のままとなっている。反面、駅南などは道路もキレイに整備されている。国道新8号線の4車線化の工事が進む中で、市の南部の方も力をいれて計画的に整備をしてほしい。	現地を一度確認させていただいたうえで、地元の皆さまとも整備の手法等をご相談しながら検討してまいりたいと思います。
2	情報公開制度	市では現在こういった体制で公開しているのか。市民が行けばいろいろ教えてもらえるのか。	市役所1階に情報公開窓口を設けて対応を行なっているので、市民の皆さまには気軽にご活用いただきたいと思います。
3	現場主義	市職員は、デスクワークも大切であるが、実際の現場へ行って自分の目で見て足で歩いて、そのうえで施策を考えることが大切である。	ご意見等については、今後の参考にさせていただきます。
4	運動公園(堀江地内)	芝生広場については、例えばパークゴルフの練習場に活用できないか。整備は市で行い、管理はパークゴルフ協会で行うなどのことができないか検討してほしい。	以前、協会関係者に東福寺野自然公園のパークゴルフ場の管理運営について話を伺ったが、対応は難しいとのことでした。ご意見等については、今後の参考にさせていただきます。
5	TPP(環太平洋パートナーシップ協定)	TPPについては、農業をはじめとする日本の第1次産業にとって大きな脅威となるとの報道もあり、米を作る百姓としては大きな不安を感じている。市ではどのような対応を考えているのか。今後は、農業生産者の不安解消に努めてもらいたい。	行政としてどのような対応が出来るかについて、市議会とも相談しながら検討してまいりたいと考えています。
6	第1次産業の振興	農業、漁業、林業を含めた第一次産業の総合的な支援について、TPP等に対する危機管理の強化等も含めて検討を進めてほしい。	現在策定中の総合計画の中でも、1次産業の振興について項目を掲げて取り組んでいくこととしています。

	提言等の項目	主 な 提 言 等	回 答 要 旨
7	「子ども課」の新設	現在の進捗状況を教えてほしい。また、教育センターとの連携はどう図っていくつもりか。	平成23年4月に教育委員会の中に「子ども課」を立ち上げる予定で準備を進めています。小中の学校教育に加え、福祉課で担当していた保育や子育て支援、乳児医療等の関係を子ども課で一体的に運用することとしています。場所は本庁1階を予定しており、子どもに係る申請のワンストップサービスの実現により、市民サービスの向上を図りたいと考えています。教育センターは学校教育の推進にあたり大変重要な役割を担っており、従来の調査・研究機能に加え、市内小中学校の指導の部分を強化したいと考えています。県に対しても人員の増員等を要望しており、「子ども課」とも連携を図りながら学校教諭の資質向上に努めていくこととしています。
8	中学生の学力	最近、特に市内の中学生の学力が低下していると聞いている。子どもたちの総合的な学力の向上を図ってほしい。	学校だけでなく、保護者や地域の皆さんの協力もいただきながら、子どもたちの総合的な学力向上に努めてまいりたいと考えています。ご意見等については、今後の参考にさせていただきます。
9	地区公民館	ご存知のとおり、公民館の利用率は年々上昇している。しかし、維持管理の予算は前市長の時代から横ばいであり、放課後児童育成等の新規の事業が増える一方で、施設全体の疲弊化が進んでいる。危機防災管理の観点や館長制度なども含めて、市全体の中での地区公民館の位置づけを明確にし、長期ビジョンやプランを立ててほしい。	富山市の地区センターにおける取組み等を今後調査・研究しながら、ご意見等も参考にして取り組んでまいりたいと思います。
10	学校教諭の労働環境	学校の先生は国県等からの調査物等に追われ大変忙しく、子どもと向き合う時間が少ないと聞いている。子どもたちのためにも教育長にはぜひ頑張ってほしい。	学校の先生が子どもたちと向き合う時間をより多くもてるよう、実態を調査しながら、事務的負担の軽減が図られるよう県など関係機関に対し働きかけてまいりたいと思います。
11	スタディメイト	妻がスタディメイトをしている関係で現場の話をいろいろ聞いているが、小学1、2年生のクラスでは先生が子どもたちを叱っている声しか聞こえてこないとのことである。また、発達障害以外の子どもでも、なかなか授業に慣れていけない子どもが多いとも聞いている。このように、学校は“学習の場”となっていないのが現状であり、家庭教育が重要ではないかとも感じている。また、子どもに勉強を教える側にストレスが溜まっていれば、いい教育は到底出来ないと思う。先生はもちろんだが、スタディメイト同士が意見(愚痴)交換などが出来るような場を月に1回でも設けてほしい。	実態は十分認識しており、子どもたちに対しては小学校だけでなく、幼稚園や保育園の時から指導が今後重要になってくると考えており、現在設置準備を進めている「子ども課」の中で一体的な指導を行なうことについても検討してまいりたいと考えています。スタディメイトに関するご提案についても、今後の参考にさせていただきます。

	提言等の項目	主 な 提 言 等	回 答 要 旨
12	職員の対応	先般のスポレク祭の際、全国から多くの選手が集まるのだから何か滑川市をPRできるものはないかということで商工水産課の方に一度問合せをしたのだが、その後返事がなかった。PRする絶好の機会を失ってしまい、残念に思っている。	今後こういったことがないよう職員の接遇、窓口対応には万全を期してまいります。